

## 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ②

令和4年3月検針分（主に1・2月使用分）

### 用途別の影響

令和4年3月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、それぞれ水量は約46,000 m<sup>3</sup>、4%、料金は約440万円、4%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約40,000 m<sup>3</sup>、料金は約360万円の減となりました。

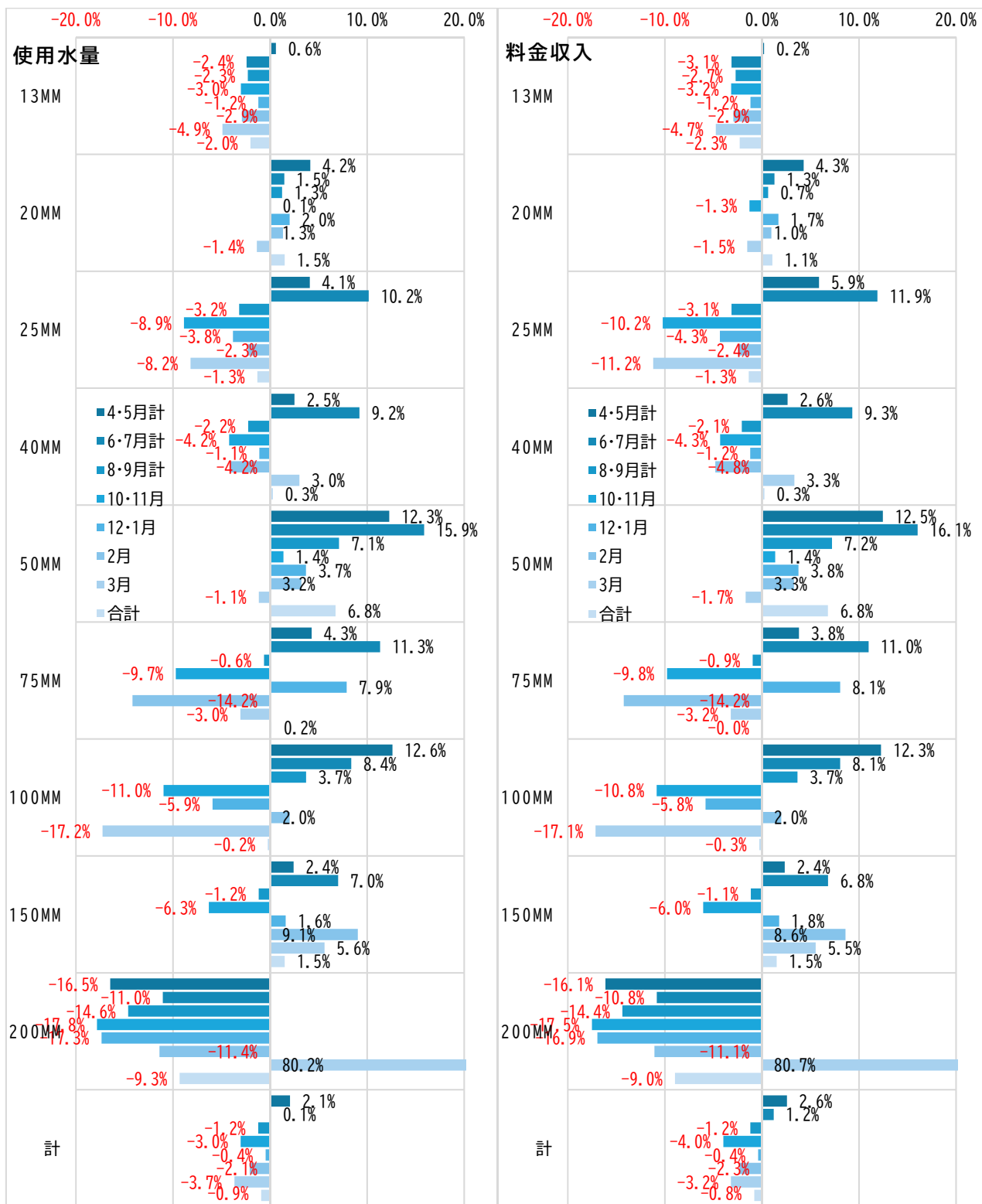
主に業務用となる25mm以上の口径では、前年度との比較では、それぞれ水量は約2,000 m<sup>3</sup>、1%、料金は約40万円、1%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約15,000 m<sup>3</sup>、料金は約350万円の減となりました。

全口径の合計は、前年度との比較では、それぞれ水量は約48,000 m<sup>3</sup>、4%、料金は約480万円、3%の減となり、前々年度との比較では、水量は約55,000 m<sup>3</sup>、料金は約710万円の減となりました。先月検針分に続き、大きく減少しています。

検針年	区分	3月検針分（1・2月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1	水量 (m <sup>3</sup> )	1,120,048	198,576	1,318,624
	金額(税抜き:円)	110,321,865	44,810,455	155,132,320
	供給単価(円)	98.50	225.66	117.65
R2	水量 (m <sup>3</sup> )	1,125,469	185,482	1,310,951
	金額(税抜き:円)	111,109,835	41,702,950	152,812,785
	供給単価(円)	98.72	224.84	116.57
R3	水量 (m <sup>3</sup> )	1,079,606	183,815	1,263,421
	金額(税抜き:円)	106,724,885	41,308,490	148,033,375
	供給単価(円)	98.86	224.73	117.17
対R2 増減  (コロナ後 との比較)	水量 (m <sup>3</sup> )	-45,863	-1,667	-47,530
	増減率	-4.08%	-0.90%	-3.63%
	金額(税抜き:円)	-4,384,950	-394,460	-4,779,410
	増減率	-3.95%	-0.95%	-3.13%
	供給単価(円)	0.13	-0.11	0.60
	増減率	0.13%	-0.05%	0.52%
対R1 増減  (コロナ前 との比較)	水量 (m <sup>3</sup> )	-40,442	-14,761	-55,203
	増減率	-3.61%	-7.43%	-4.19%
	金額(税抜き:円)	-3,596,980	-3,501,965	-7,098,945
	増減率	-3.26%	-7.82%	-4.58%
	供給単価(円)	0.36	-0.93	-0.48
	増減率	0.36%	-0.41%	-0.41%

### 口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、40mm、150mm、200mmを除く口径で減となりました。



※料金収入は、減額措置の影響を差し引いています。

考察

先月の検針に続き、前年比減となる口径が多くなっています。コロナ前の一昨年と比較しても、大きく減少しており、家庭での需要も少なくなっていますが、一部の大口徑で需要が回復し、業務用の回復が見込めます。

しかし、今回の検針結果は、第6波が拡大した1、2月の使用ですが、以前とは異なり、家庭での需要増加は見られませんでした。このまま家庭での需要の減少が続けば、今後も料金収入は伸び悩むと思われます。